

令和2年12月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

特記事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,300	273,932	273,600	273,761	332	171
2 調定水量	m ³	628,142	5,877,370	5,764,800	5,828,185	112,570	49,185
3 調定料金(税抜)	円	168,998,264	1,574,589,132	1,546,000,000	1,559,700,676	28,589,132	14,888,456
4 口振加入件数	件	25,067	226,107	—	226,044	—	63

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,423	165,010	164,270	162,337	740	2,673
6 調定水量	m ³	385,593	3,546,917	3,434,400	3,452,008	112,517	94,909
7 調定料金(税抜)	円	61,139,593	559,778,517	540,687,000	545,059,671	19,091,517	14,718,846

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	77,428	—	78,825	△ 1,397
9 給水件数	件	30,023	—	29,951	72
10 開栓処理件数	件	203	2,154	2,160	△ 6
11 閉栓処理件数	件	306	2,267	2,380	△ 113
12 給水工事設計審査	件	47	490	622	△ 132
13 給水工事竣工検査	件	45	640	662	△ 22
14 経年メーター交換	件	7	3,416	4,093	△ 677
15 メーター口径変更	件	9	48	50	△ 2
16 月末停止件数	件	4	113	105	8

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
17 排水設備工事確認申請	件	24	284	361	△ 77
18 排水設備工事完了検査	件	33	282	381	△ 99

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
19 当年度分	194,799,714円	88.75%	195,227,961円	88.46%
20 過年度分	4,425,088円	97.68%	4,550,515円	97.60%
21 計	199,224,802円	-	199,778,476円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
22 当年度分	80,828,967円	86.86%	78,962,425円	86.64%
23 過年度分	843,106円	98.90%	998,959円	98.64%
24 計	81,672,073円	-	79,961,384円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
25 当年度分	3,490,900円	91.88%	3,736,600円	91.20%
26 過年度分	2,401,000円	27.30%	3,316,130円	19.24%
27 計	5,891,900円	-	7,052,730円	-

8 入札・契約

(左:当月 右:累計)

項目	累計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計
入札件数	4	5137 / 144	4	590 / 97	0	019 / 19	0	010 / 10	0	018 / 18	0	00 / 0
契約締結	一般	2	37	2	37	0	0	0	0	0	0	0
	指名	2	78	2	43	0	19	0	6	0	10	0
	随契	0	22	0	10	0	0	0	4	0	8	0
	合計	4	137	4	90	0	19	0	10	0	18	0

《中止 当月 2件/累計 13件》《不調 当月 1件/累計 7件》《取消 当月 0件/累計 1件》《未契約 0件》

1. 12月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は168,998千円(税抜)で、前月期に比べて5,351千円の減で、対前年同月比では3,576千円の増となり、営業収益は209,038千円、営業外収益は給水管破損に伴う補償金及び事務手数料等5,317千円、特別利益は建物災害共済金2,475千円を執行しました。

当期の営業費用は職員給与費、修繕費及び業務委託料など100,871千円、特別損失は放射性物質測定業務で35千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金で264千円を執行しました。

支出は、建設改良費として浄水場機器更新、調査設計費及び事務費に26,306千円を執行しました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に1,715千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は61,139千円(税抜)で、前月期に比べて1,907千円の減で、対前年同月比では1,824千円の増となり、手数料収益3千円等を含め営業収益は67,147千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や業務委託料など83,922千円、特別損失は汚泥放射性物質測定業務で89千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、県補助金として40,000千円を執行しました。

支出は、調査設計費、浄化槽設置工事や職員給与費などを含む建設改良費14,316千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会12月定期議会が開催されました

12月4日(金)に令和2年度登米市議会定例会12月定期議会が開会し、上下水道部では「令和2年度登米市水道事業会計補正予算(第2号)」及び「令和2年度登米市下水道事業会計補正予算(第1号)」を提案し、原案通り可決されました。

補正予算については、両会計ともに人事院勧告に伴う人件費の補正を計上しました。

また、一般質問では「下水道事業の経営戦略について」ご質問いただき、公営企業会計移行後の効果、人口減少と下水道普及率について及び経営課題と改善策等、本市の方向性について答弁を行いました。

(2) 総務企画常任委員会が開催されました

12月10日(木)総務企画常任委員会が開催されました。上程案件である補正予算2件の説明の他、上下水道事業運営審議会の検討及び栗原市との相互応援給水に関する協定の締結等について説明させていただきました。

(3) 水道事業連絡会議について

水道事業はそれぞれが担当する業務が密接に関わり合っていることから、上下水道部と受託事業者において「水道事業連絡会議」を開催し、4半期ごとに各業務の進行状況や水道事業の経営状況について情報交換を行っています。この連絡会議は今後も継続し、職員と民間企業のスキルアップにつながる活動にしていきます。



【水道事業連絡会議の状況】

令和2年12月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	824,295	7,432,490	7,085,740	7,410,855	346,750	21,635
総配水量	774,107	6,909,973	6,597,460	6,895,058	312,513	14,915
1 有効水量	680,410	6,407,107	6,250,820	6,295,511	156,287	111,596
(1) 有収水量	632,556	5,920,285	5,806,900	5,867,400	113,385	52,885
(2) 無収水量	47,854	486,822	443,920	428,111	42,902	58,711
2 無効水量	93,697	502,866	346,640	599,547	156,226	△ 96,681
(1) 漏水量	93,346	499,852	341,000	596,043	158,852	△ 96,191
(2) その他無効水量	351	3,014	5,640	3,504	△ 2,626	△ 490
3 有収率	81.71%	85.68%	88.02%	85.10%	-2.34%	0.58%

※ 当月期の最大配水量は、24日（木）に記録した【25,127m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	1	6,160	0	0	0	0	6,160	0.0%
浄水施設整備事業	10	40,370	4	22,789	1	15,180	2,401	94.1%
配給水施設整備事業	60	1,163,876	42	724,933	17	124,745	314,198	73.0%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 大巻取水口迫川浚渫作業の実施

12月21日（月）石越浄水場大巻取水場において、浄水施設等管理運営業務受託者により、取水口（迫川）付近に堆積した土砂の浚渫作業を実施しました。この作業は、河川に堆積した土砂が取水樋管（堤防を貫通して設置した暗渠）に流入し取水の阻害となることを未然に防止すると流水路を確保することで、安定した取水を図ることを目的として行うものです。

作業は河川の渇水期に年1回実施します。



【浚渫作業状況】

2 大萱沢浄水場着水井・沈殿池清掃の実施

12月23日（水）大萱沢浄水場において、浄水施設等管理運営業務受託者により、原水着水井と沈殿池の清掃作業を実施しました。この作業は、池の中に堆積した土砂を排除することで、安定した浄水処理（堆積物が越流しろ過砂の目詰まりを防止する）を図ることを目的として行うものです。

作業は年1回実施します。



【沈殿池清掃状況】

◎ 漏水調査結果について

施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
配水管	30	88.032
付属施設	0	0.000
給水装置	46	45.276
計	76	133.308

【漏水調査結果：4月～12月（累計）】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）
約892,278円/日当たり
算定：R1年度給水原価 278.89円
累計漏水量 133.308m³/h
133.308m³/h×24h×278.89円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道	253,216	2,378,393	2,453,742	△ 75,349		1 処理場
特定環境保全公共下水道	53,132	497,904	485,577	12,327		3 処理場
米谷・錦織処理区	11,877	112,151	112,895	△ 744		
豊里処理区	29,671	273,233	261,584	11,649		
津山処理区	11,584	112,520	111,098	1,422		
流域関連特定環境保全公共下水道	12,684	117,873	112,014	5,859		
農業集落排水	103,677	1,031,901	1,054,325	△ 22,424		24 処理場
迫地区	8,234	82,043	83,155	△ 1,112		
東和地区	3,025	27,335	26,766	569		
中田地区	28,391	277,970	285,091	△ 7,121		
豊里地区	1,965	18,780	18,886	△ 106		
米山地区	42,380	445,345	457,280	△ 11,935		
南方地区	19,682	180,428	183,147	△ 2,719		
浄化槽（特地・個排）	39,316	365,290	339,797	25,493		1905基
合計	462,025	4,391,361	4,445,455	△ 54,094		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	13	639,869	6	401,117	6	55,411	183,341	71.3%
処理施設整備事業	6	375,883	4	312,438	1	15,277	48,168	87.2%
浄化槽整備事業	80	124,270	13	12,014	51	60,792	51,464	58.6%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

※ 浄化槽整備事業の受付は、80件となり11月末で終了しました。

特記事項

1 汚水管渠築造工事及び舗装復旧工事の完了

石越町東郷地区の汚水管渠築造工事が完了しました。この工事は、開削工法及び推進工法による管路（施工延長106.8m）、マンホール（3基）及び小型マンホール（1基）を整備しました。また、中田町宝江新井田地区において、道路の舗装復旧工事が完了しました。この工事は、令和元年度完了した汚水管渠築造工事に係る舗装復旧路線（施工延長578m）の本復旧を行ったものです。



【汚水管渠築造工事状況】

2 下水道処理施設放流水の検査

12月1日（火）鴛波、米川、長谷及び大泉地区の農業集落排水処理施設において、8月期に引き続き、宮城県石巻保健所による下水道処理施設の放流水水質検査が行われました。今回の検査結果、4処理施設の放流水は全て基準値内でした。今年度の検査は15処理施設において実施されました。